

2018年度 地域団体向けプロボノプログラムのご案内



いくつになっても、いきいきと暮らせるまちをつくる

東京ホームタウン

プロジェクト TOKYO=HOMETOWN PROJECT



東京都福祉保健局

企画・運営



特定非営利活動法人 サービスグラント

東京ホームタウンプロジェクトによる支援

地域包括ケアシステムの姿

病気になったら…

医療



- 病院
急性期、回復期、慢性期
- 日常の医療
 - ・かかりつけ医
 - ・有床診療所
 - ・地域の連携病院
 - ・歯科医療、薬局

相談業務やサービスの
コーディネートを行います。



- ・地域包括支援センター
- ・ケアマネジャー



住まい



入院
通院



- ・自宅
- ・サービス付き高齢者向け住宅など



- ・老人クラブ・自治会
- ・ボランティア・NPO など

いつまでも元気に暮らすために…

生活支援・介護予防

介護が必要になったら…

介護



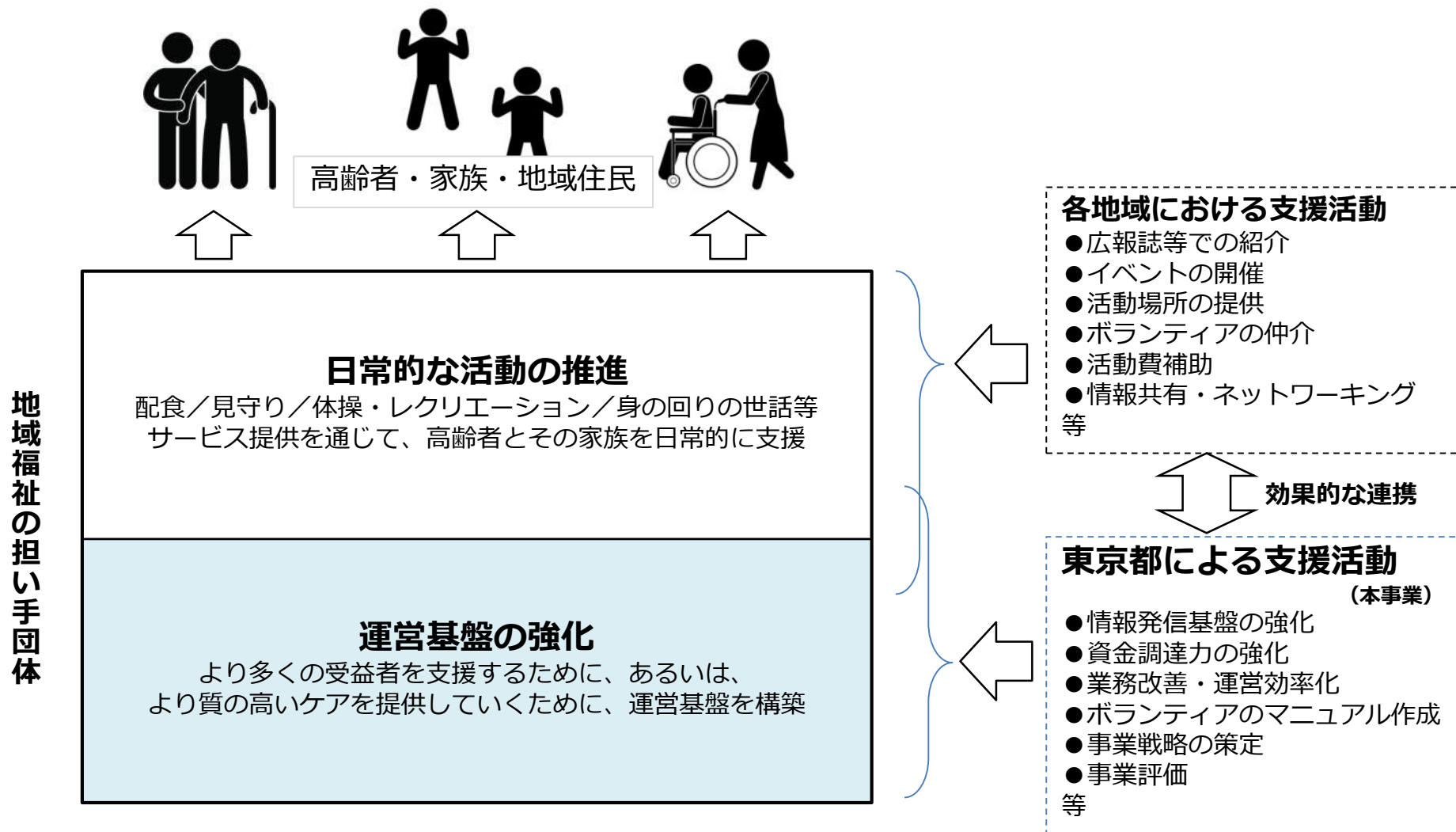
- 在宅系サービス
 - ・訪問介護
 - ・訪問看護
 - ・通所介護
 - ・小規模多機能型居宅介護
 - ・短期入所生活介護
 - ・福祉用具
 - ・24時間対応の訪問サービス
(小規模多機能型居宅介護
+訪問介護) など
- 介護予防サービス
- 施設・居住系サービス
 - ・介護老人福祉施設
 - ・介護老人保健施設
 - ・認知症共同生活介護
 - ・特定施設入所者生活介護など

地域包括ケアシステムは、
おおむね30分以内に
必要なサービスが提供される
日常生活圏域（中学校区）
を単位として想定

地域福祉の担い手である様々な団体等を支援します

本事業における支援の位置づけ

身近な各地域における既存の支援策と連携しながら、地域福祉の担い手となる様々な団体等に対して「**運営基盤の強化**」につながる支援を提供していきます。



2018年度の東京ホームタウンプロジェクト

①個別支援

短期間ですぐに役立つ成果物を作成する「プロボノ1DAYチャレンジ」と、じっくり腰を据えて取り組む「ホームタウンプロボノ」で、団体の運営基盤強化につながる支援を提供します。

短期プロジェクト
「プロボノ1DAYチャレンジ」
2018年10月20日（土）本番開催

1カ月の準備期間＋本番1日

中・長期プロジェクト
「ホームタウンプロボノ」
2018年8月～2019年2月頃予定

約2～6カ月間

※プロジェクト開始時期は支援内容により異なります

②相互学習

「東京ホームタウン スタディツアー」
6月以降 月1回目安 実施予定
訪問先団体：8～10団体（予定）

他地域の取り組みからの学び合いによる各活動団体の活性化、地域活動に中心的に携わる活動者どうしのネットワーキング等を目的とし、東京ホームタウンプロジェクト参加団体の活動現場を訪問するスタディツアーを実施します。

「ソーシャルプログラム開発」
4月～10月実施予定
対象団体：3団体（予定）

地域活動を通じて培われたノウハウや成果を挙げるためのエッセンスを可視化し、他地域で同様の課題を抱えている団体や生活支援CDが使いやすい“虎の巻”を作成します。

③人材育成

「THTPライフシフトプログラム」
7/5,6～8/3実施予定
1団体に対し3チームで支援

シニア世代・プレシニア世代を対象に、地域団体・NPO等へのプロボノ活動を通じて、自身のキャリアの振り返りとリタイア後の社会参加につなげることを目的とした研修プログラム。生活支援CD等中間支援組織職員が参加することで地域の課題解決力向上にもつながります。

①個別型支援：企業人等による「プロボノ」活用を推進

地域福祉の担い手団体に不足しがちなビジネススキルや組織経営力の向上を実現するため、企業人等による「**プロボノ**」の活用を推進していきます。

「プロボノ」とは？

プロボノとは、ビジネススキルや専門知識を活かしたボランティア活動を意味します。

日本では2010年が「プロボノ元年」と言われ、企業人等のプロボノに対する関心は次第に高まりを見せています。

Pro	For	～のために
Bono	Good	善・いいこと
Publico	Public	公共的な

語源はラテン語のPro Bono Publico（公共善のために）という言葉です



▲NHK「クローズアップ現代」2010.7.1



▲テレビ東京「WBS」2010.4.27



「プロジェクト型支援」で具体的な成果物を提供

プロボノによる支援が、地域福祉の現場において効果的に活用されるために、具体的かつ実用性の高い成果物の提供を目標とする「プロジェクト型支援」を行っていきます。

地域福祉の
担い手団体

事務局

プロボノワーカー
(企業人等ボランティア)

短期プロジェクト

「プロボノ1DAYチャレンジ」

2018年10月20日(土)開催

1カ月の準備期間+本番1日に限定したプロボノ体験型企画。短期間で実現可能な成果物の提供にチャレンジします。

中・長期プロジェクト

「ホームタウンプロボノ」

2018年8月～2019年2月頃予定

約2～6カ月の期間をかけて、支援先団体が必要とする運営基盤強化につながる成果物を提供します。

支援先団体の運営基盤強化に役立つ具体的な成果物を提供



「知ろう！小児医療
守ろう！子ども達」
の会
主催講座へっちゃんさ
マニュアル



荒川メソッド:クリーンエイド実習(河川敷)

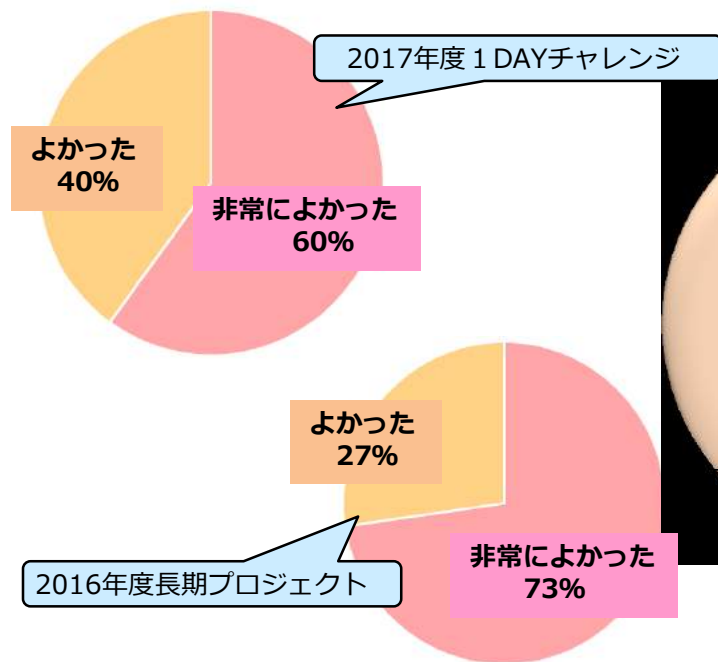


「実際にやってみたら、
ただのゴミ拾いじゃなかったー
無意識だったことを意識できるようになる
これって実はすごいこと」



これまでの成果

2015年度～2017年度に実施したプロボノプロジェクトの成果をご紹介します。



支援先団体の声

「自分の頭の中、パソコンの中に漠然と存在していたものが目で見える形に整理された」

「自分たちでは気づかなかった提案をいただき、目標達成に向けて今後の活動方向が見えた気がします」

「第三者の立場から新しい視点で支援を受けられるのは非常に効果的」

「団体内部ではなんとなく評価できない、確信にならない事柄が明確になった」

「新しい企画の実現に立ち向かう勇気を頂きました」

プロジェクト型支援による支援分野

プロジェクト型支援を通じて、以下の3分野を中心に、地域福祉の担い手団体のニーズに応じていきます。

『ボランティアを
たくさん集めたい！』

『もっと多くの人に
この活動を知ってほしい！』

『企業等と
連携・協働したい！』

分野①

情報発信・支援者開拓

広報や情報発信の重要性は感じていながら、日々の活動に忙しく、十分な労力を割けないでいる団体を対象に、パンフレットをはじめ広報ツールの制作をサポートします。

『一部の人に作業が
偏りがち！』

『マニュアルを作って
ノウハウを共有したい！』

『会計・経理などの処理が
スムーズに進まない！』

分野②

組織運営・会計経理

一部の人に作業が偏る、代表のノウハウが全体に共有されない、会計や経理の流れが整っていないといった組織運営上の課題解決を通じて、団体の可能性を高めることをサポートします。

『現状の取り組み・商品・
サービス等を見直したい！』

『団体の何が課題か？
まずは棚卸をしたい！』

『団体の活動意義を客観的
な形で外部に伝えたい！』

分野③

事業戦略・評価

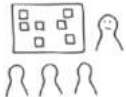
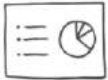
組織の目標を見直したい、現在の取り組みについての改善点を把握したい、活動を客観的に評価してほしいなど、今後に向けた検討材料を提供することで、活動の展開を応援します。

【ご案内】原則として、1つのプロジェクトで目標とする成果物は、1点に限らせていただきます。
また、1つの団体が同時に複数のプロジェクトによる支援を受けることはできません。

支援メニュー

情報発信系		支援内容	1DAY	長期
ウェブサイト制作		団体の情報発信の要となるウェブサイトを一新することで、重要なターゲットに、必要な情報が伝わるようにしていきます。		●
ウェブサイト改善点整理		現在のウェブサイトの課題を洗い出し、団体のニーズに基づいてウェブサイトのブラッシュアップのための改善提案を行います。		●
団体紹介パンフレット		団体の活動を一目で理解してもらうような効果的なパンフレットで、利用者・支援者等の活動に対する理解を早めます。		●
募集チラシ・ポスター		手に取ってもらえるチラシ、目に留まるポスターをどう作るか？ 現状のチラシ・ポスターをレベルアップ！（目安：A4両面）	●	
Facebook・SNS活用		FacebookをはじめとするSNSが急速に拡大中。Facebookページを立ち上げて「いいね！」を集める一歩目を踏み出します。	●	
クラウドファンディング企画		インターネットを使って寄付等を集めるクラウドファンディングに挑戦。人々の興味を引くようなプロジェクトを企画します。		●
外国語翻訳		外国人の住民・利用者に向けて、外国語での情報発信を通じて活動の国際化を、そして、多様な人々が共生する地域づくりを。	●	
営業資料		企業等を訪問して協働事業を提案する際に使用する、説得力・訴求力のある資料を作成。資金調達のための重要ツールに！		●
映像		言葉で説明するよりも、映像を見てもらえばあっという間に伝わることも。数分程度の団体紹介VTRを制作します。		●

支援メニュー

組織運営系		支援内容	1DAY	長期
会計・経理改善		会計・経理実務の現状を把握し、課題点の抽出を行うとともに、最も優先順位が高い点について改善提案します。	●	
クラウドツール活用		Google、SkyDrive、Dropboxなどのクラウドツールを効果的に活用しながら、組織内の円滑な情報共有をサポートします。	●	
法務改善		利用者等に対する参加規約や同意書など、法務上の対応が必要な場面での、法務文書のひな型作成などを支援します。	●	
運営マニュアル		一部スタッフのノウハウを「明文化」することで、多くのボランティアが活動を担える体制づくりを応援します。		●
寄付者・寄付金管理		寄付者に税制優遇が適用される認定NPO法人の取得に向けて、寄付金や寄付者の管理体制強化を応援します。		●
事業戦略・評価系		支援内容	1DAY	長期
課題整理ワークショップ		組織として課題と感じられていることを棚卸するとともに、それらの優先順位を整理し、次のアクションへとつなげます。	●	
スペース活用ワークショップ		施設、店舗、サロンなどを運営している団体を対象に、既存スペースや空き家等を有効活用するための施策案を検討します。	●	
アンケート活用入門		実施したものの活用できていないアンケート結果のデータ活用法やより効果的なアンケートの作成方法などをご提案します。	●	
マーケティング基礎調査		現状の商品・サービスの利用者・支援者等に対して目的を絞った調査を行うことで、効果的な改善方法等を整理・提案します。		●
事業評価		団体の活動の成果についての第三者的・客観的な視点から調査、数値的な評価を通じて、団体の活動意義や価値を外部に伝えやすくなるよう可視化します。		●

短期「プロボノ 1 DAYチャレンジ」実施概要

目的：支援先団体に役立つ具体的な成果物を短期間で提供



実施日程

本番実施日

2018年10月20日（土）

10:30～17:30頃まで

※ 本番約1カ月前からチームによる準備活動が始まります

会場（予定）

プロボノ活動：都内各地（団体活動拠点等）

成果報告会：都内予定

支援先団体 件数

10団体程度

プロボノ チーム人数

1チーム 4～6人程度

※各チーム人数は、全体の参加人数や支援メニューにより異なります

支援事例

【チラシ・パンフレット制作】



輝水会

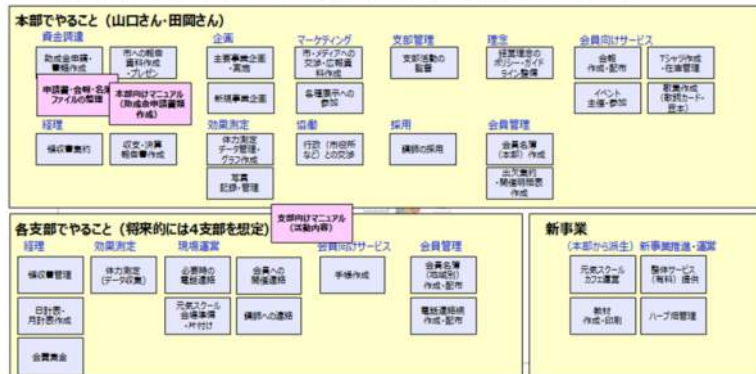
医療者や専門職に向けた
活動紹介チラシ

みたか・みんなの広場

複数の団体から成るネットワークの活動紹介チラシ

【課題整理ワークショップ】

「野川元気スクール」における現状と課題



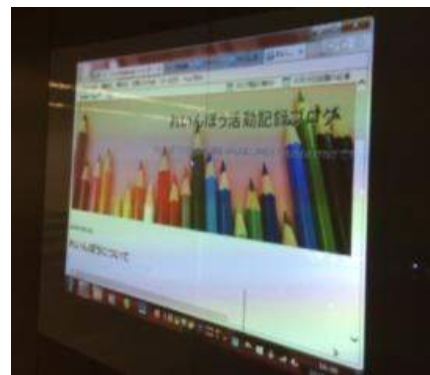
野川元気スクールグループ°

団体代表の中だけにあった、さまざまな業務を洗い出し、課題を見える化。本部・支部での役割分担も提案

【SNS活用】



要町あさやけ子ども食堂
Facebookページと、わかりやすい使い方資料を制作



大洋社 ひまわり苑

さまざまな種類がある
SNSのうちどれが団体に
適しているかを提案
し、その場でブログを
制作

終活サポーターズ

亡くなるための準備ではなく
今をよりよく生きるための“終活”を
伝えるチラシ



支援事例紹介①

支援団体名：ボランティアさくら（立川市）

支援メニュー：チラシ制作

団体活動概要：

在宅療養をサポートする団体として立川市で活動。在宅療養中または在宅療養を始める方やその家族を対象とし、サポート介護施設や個人宅訪問の両方を活動基盤としながら、患者や家族の話し相手や、見守り、通院の付き添いなどのケア、サポートを行っている

課題：

在宅療養をされている方やその家族の潜在的ニーズは大きいと思われるものの、「さくら」活動の様子や価値が外からはわかりにくいという課題があった

プロジェクト成果：

- 既存チラシの要素の整理とともに、団体の方へのヒアリングを通し、団体が大切にしたい思いを表現
- 団体スタッフが今後も手を加えながら活用できるよう、チラシはPower Pointのデータで納品



メッセージが明確になり、活動紹介がしやすくなりました。この共同作業の達成感はこのからの活動に活かされると思います。



支援事例紹介②

支援団体名：要町あさやけ子ども食堂（豊島区）

支援メニュー：Facebookページ&手順書作成

団体活動概要：

食堂“店主”山田さんが自宅を開放して月2回、子どもやその親が集う食事の場を提供。地域の一人暮らし高齢者が利用することもあり、多世代交流の場としても期待されている

課題：

スマホを利用してオンライン上で情報を得ているお母さんたちに向けて、また、他地域でも同様の活動を広げてもらうための情報発信手段としてFacebookページ作成を希望していた

プロジェクト成果：

- 「あさやけ子ども食堂」Facebookページ立ち上げとともに、山田さんが今後更新していけるよう、わかりやすいマニュアルも作成
- 2018年3月現在、2000件以上の「いいね！」獲得

エプロンをしてスカarfをかぶって、スマホの授業・・・楽しいひと時でした。どの団体にもフレッシュな風が吹いたのではないのでしょうか。



支援事例紹介③

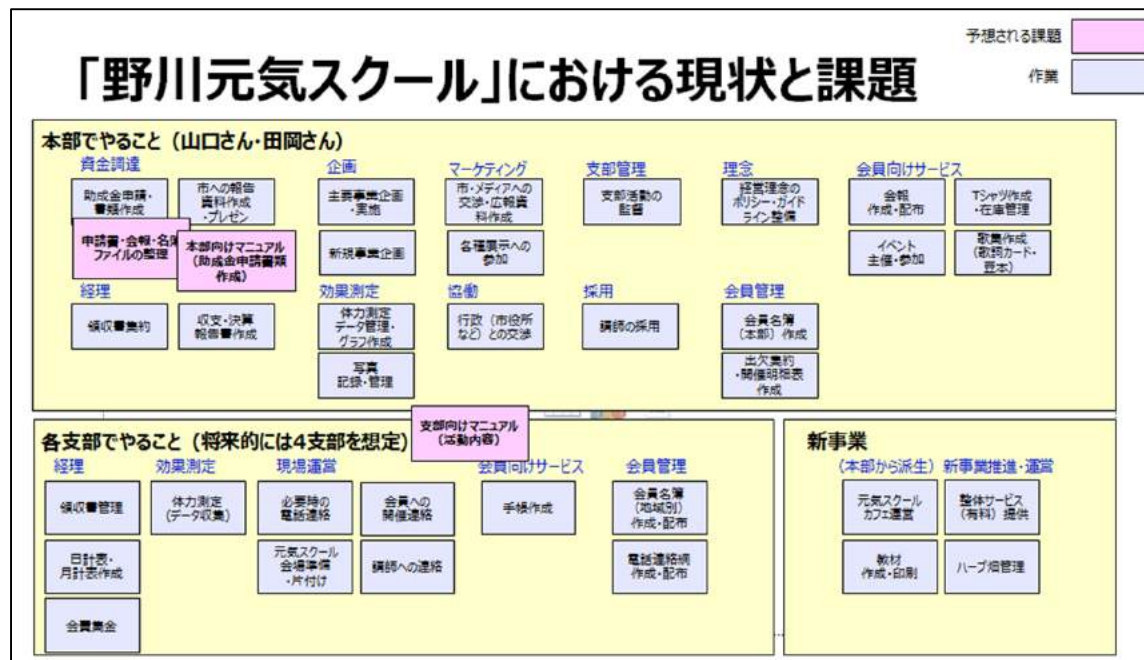
支援団体名：元気スクールグループ（狛江市）

支援内容：課題整理ワークショップ

団体活動概要：

2011年より、狛江市内の高齢住民を対象とした転倒予防体操教室を運営。専門講師のもと週1回、2グループで60人ほどの参加者が集まり活動

課題：体操教室を現在の2グループから増設を目指しているが、現状、運営業務は80代の団体代表+1名で担当している状況。今後の担い手の育成、本部・支部での業務分担計画等を早急に進めるため、業務の棚卸しと「見える化」が必要だった



プロジェクト成果：

- 聞き取りによって業務の洗い出しを行い、これまでは団体代表の中だけにあった、業務の数々をしっかりと“見える化”
- 団体内で無理のない運営をしているように考えた業務分担案と、検討すべき課題をチームから提示



真剣に応援して下さる方があることを知った時、「百万の援軍を得た」心境で、新しい企画の現実化に立ち向かう勇気を頂きました。

プロボノ1DAYチャレンジの流れ① 支援決定～事前準備

7月～8月 事務局による事前ヒアリング



8月末まで 支援内容の合意・決定



8月～9月 必要書類・参加同意書の記入



9月下旬～本番当日
チームによる事前訪問の受け入れや
問い合わせ・資料提供の依頼等へのご対応



プロボノチーム側は本番の約1カ月前に一度集まり、打合せをします。その際に支援先団体の皆さんに記入いただいた書類やパンフレットなどを資料としてお渡しします

10/20当日までの約1カ月の準備期間中に、団体の皆さんにチームから直接連絡を取らせていただきますので、ご協力をお願いします

プロボノ1DAYチャレンジの流れ② 10月20日（土）当日

10:00～10:30頃 プロボノチームが打ち合わせ場所に到着
※到着時間は訪問場所やチームによって異なります

プロボノチームが各団体の事務所や活動拠点にお伺いします

10:30～17:00頃 プロボノチームとの打合せ・成果物作成

- ・団体の皆さんへの質問やヒアリング
- ・成果物についてのディスカッション
- ・成果物の作成



事前にチームと相談の上、昼食を一緒にとるなどしていただきます

成果物納品・プロジェクト完了



チームから成果物をお渡しして完了。団体の皆さんの参加はここまでです

18:00～ 成果報告会（場所：都内会場を予定）

各チームの活動の様子や成果物を発表、全体で共有します



プロボノチームは全員集まりますが、団体の方のご参加は任意です。ご都合がよろしければぜひご参加ください

中・長期「ホームタウンプロボノ」実施概要

目的：団体の組織基盤を強化する中・長期的な成果物を提供



実施日程	2018年8月下旬～2019年2月頃
実施期間	支援メニューにより、2～6カ月程度 ※プロジェクト開始時期は支援内容により異なります
支援先団体 件数	10団体程度
プロボノ チーム人数	1チーム 5～7人程度 ※各チーム人数は、全体の参加人数や支援メニューにより異なります ※子育て中の女性たちによる「ママボノ」チームもあります

支援事例紹介①

支援メニュー：印刷物（パンフレット）制作 東大和市介護予防リーダー会（東大和市）



【団体活動概要】

高齢者の健康を維持・向上させる取り組みとして、介護予防リーダーの育成を行っている東大和市。市による半年間の研修を受けて認定されたボランティアの皆さんが集まるのが「東大和市介護予防リーダー会」。2016年12月時点で88名が所属し、リーダー会のメンバーが市内で運営する介護予防の自主グループは18団体まで広がり、それぞれが活発に活動しています。

【プロボノの支援目的】

各グループの活動は活発でも、リーダー会の活動全体を紹介できるようなツールはなかったため、“一つのリーダー会”としての発信をしていくためのパンフレット制作に取り組みました。



【プロジェクト活動内容・成果物】

大所帯のリーダー会の中には様々な意見がありましたが、プロボノチームは打合せやヒアリングを通じて理解を深めながら丁寧に進行。リーダー会の活動は、市オリジナルの介護予防体操「東大和元気ゆうゆう体操」の他にも、「歌のひろば」「園芸」「サロン」といった多彩な活動に支えられていること、東大和市と連携していることなどがしっかりと伝わる、明るいイメージのパンフレットが完成しました。



支援事例紹介②

支援メニュー：運営マニュアル作成 NPO法人 ドリームタウン（板橋区）

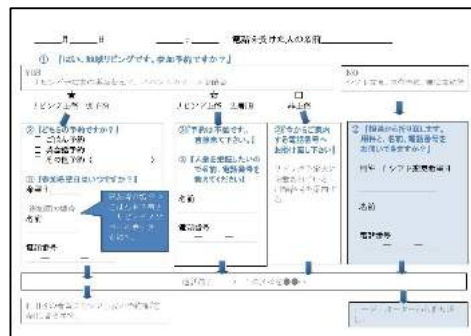


【団体活動概要】

高度経済成長期に建設され「東洋一のマンモス団地」として知られる板橋区高島平。高齢化が進み、一人暮らしの高齢者の暮らしをどのように支えるかが大きな課題です。そんな中、コミュニティカフェ「地域リビング プラスワン」を運営し、食を中心とした交流スペースを提供。多様な人がそれぞれの思いを持ちながら関われる場所を運営しています。

【プロボノの支援目的】

ボランティアが50人以上に上るようになり、自由な雰囲気を残しながら、関わる人同士が連携し、開かれた場所であり続けるために、コミュニティカフェの運営マニュアル作成に取り組みました。



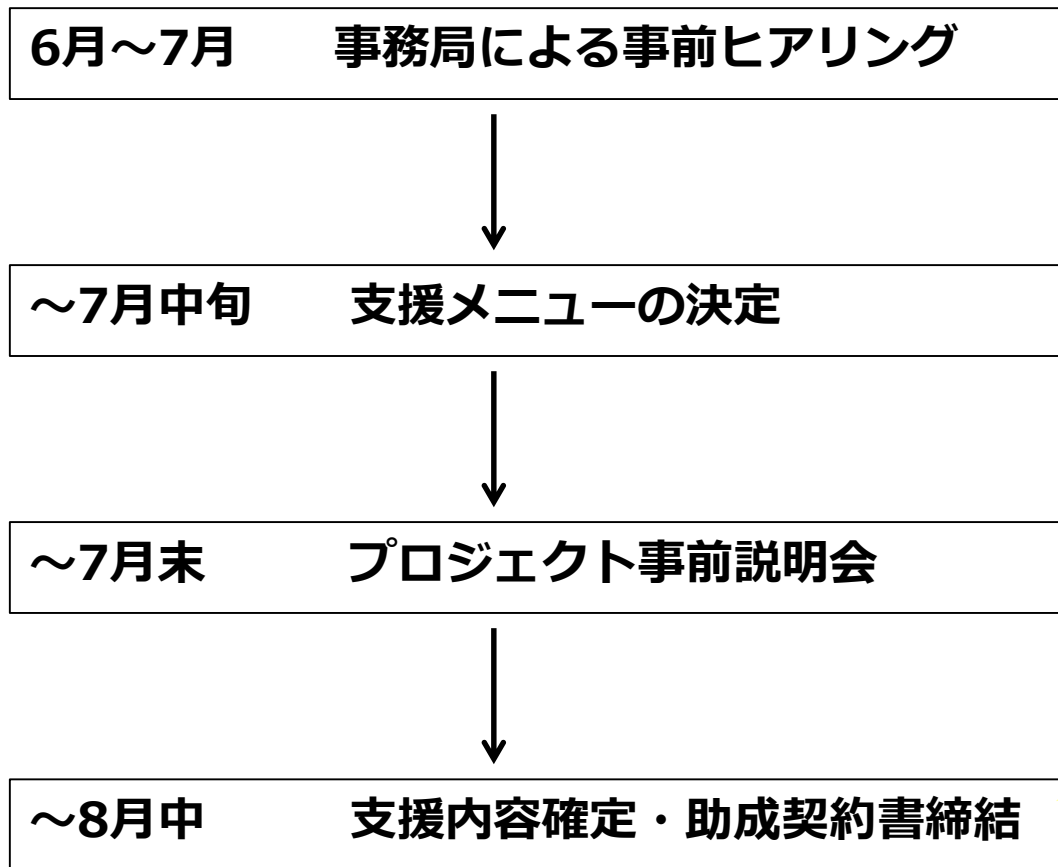
【プロジェクト活動内容・成果物】

活動見学やボランティアの方へのヒアリング調査などを通じ、プロボノチームは「地域リビング プラスワン」の価値を客観的に洗い出すとともに、課題を整理しました。

業務内容を細かく見直し、接客対応、衛生管理、備品の利用ルールなどをマニュアルとして言語化。ボランティアの皆さんが熱意を持ちながら、気持ちよく活動が続けていくための基盤づくりを応援しました。



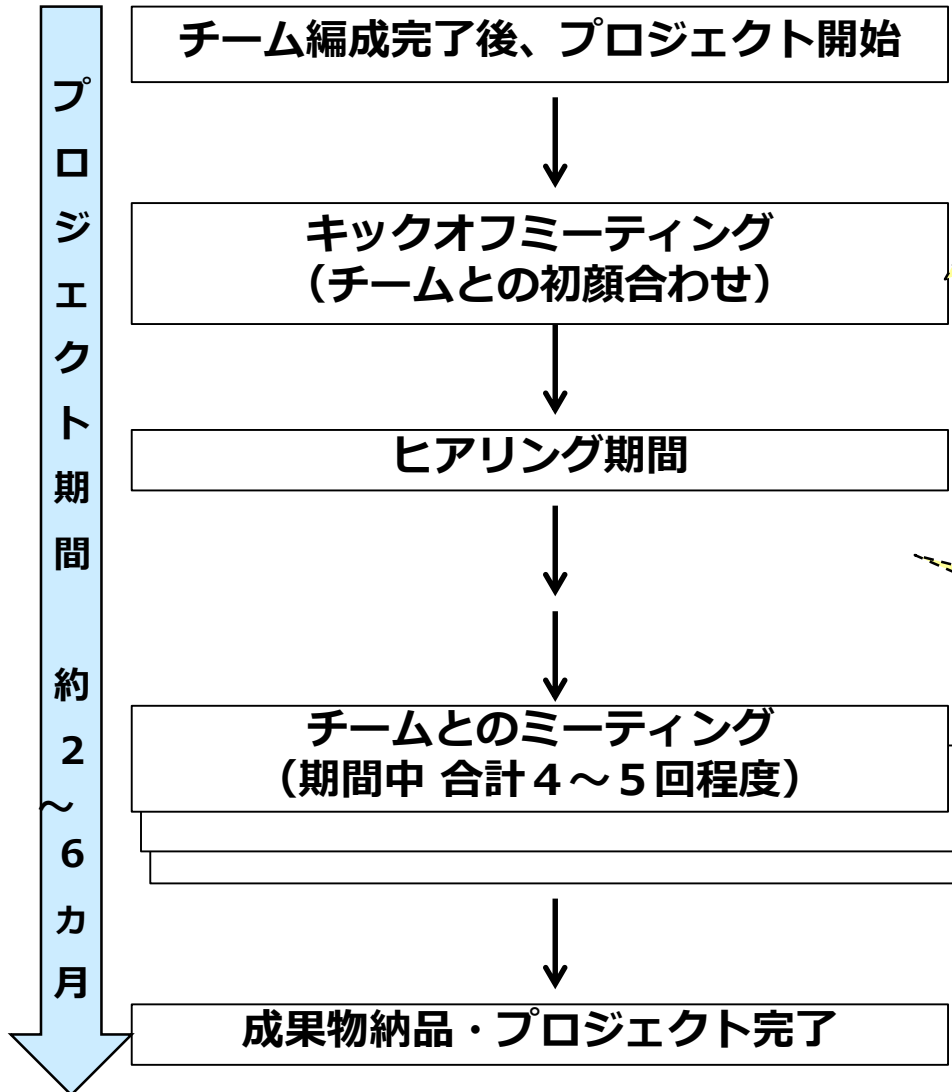
長期プロジェクトの流れ① 支援決定～事前準備



支援が決定した団体を対象に、事務局による事前説明会を開催。プロジェクトの進め方や留意点等をご説明すると同時に、団体の皆さんからの疑問や不安等を解消するための場となります

プロボノチームの代表者が団体を訪問し、詳細な支援内容を相談します。双方合意の上で支援内容を確定し、事務局との契約書を締結します

長期プロジェクトの流れ② プロジェクト開始後～完了まで



プロジェクト期間中、プロボノワーカーは週5時間までを目安に活動を行います。キックオフ以降、チームとの打合せには、プロジェクトの窓口担当者だけでなく団体代表者の方でもできるだけご出席ください



ヒアリングでは団体の内部スタッフや外部関係者、その他、団体の活動につながる方などをヒアリング先としてご紹介いただく場合がありますのでご協力をお願いします

プロボノプログラム 期待される効果

団体運営上の課題解決につながる、具体的な成果物が得られます

活動を広げたり、強化することに役立つ具体的な成果物の提供を通じて、団体の活動展開を応援します。

外部の視点を取り入れることで、活動の活性化につながります

企業等で活躍する人材との交流を通じて、スタッフやボランティアの活性化のきっかけをつくります。

他地域の地域づくりの担い手団体の活動を知るきっかけになります

今年度は約20団体を支援。東京の地域づくりを担う他地域の多様な団体の活動を知る機会にもなります。

専門的で質の高いサポートを、無償で受けることができます

ただし、ウェブサイトのサーバー費用、印刷物の印刷経費などの実費経費は、団体側の負担となります。

2018年度実施内容のご案内

応募の流れ

1	4月～5月 説明会・事前協議	支援を希望する団体と、各地の区市町村・地域包括支援センター・社会福祉協議会等が協議し、本プログラムへの応募について事前に相談します。5月には参加希望団体向け説明会も予定しています。
2	～6月15日(金) 応募受付期間	応募内容が決まったら、「 <u>応募申込書</u> 」に記入して電子メールにてご応募いただきます。 ご応募をいただいた案件から順次審査を進めますので、早目のお申込をお待ちしています。
3	～6月末日 書類選考	申請内容をもとに支援の実施可否について検討します。 採択基準については、「8 採択基準」を参照願います。
4	～7月下旬 面接審査	上記書類選考を通過した申請について、個別に面接を実施し、団体の課題、支援ニーズ等について詳しくお伺いします。
5	～8月末日 結果通知	本プログラムによる支援の実施に関して、事務局による調整結果を申請団体の皆さまにお伝えします。



2018年10月20日(土) 開催
「プロボノ1 DAYチャレンジ」
(10団体程度)

※参加団体の皆さまは、本番当日は万障繰り合わせの上ご参加願います



2018年8月下旬～2019年2月頃
「ホームタウンプロボノ」
(10団体程度)

プロジェクト期間：約2～6カ月
※プロジェクト開始時期は支援内容により異なります

プロボノプログラム応募方法／問い合わせ先

応募方法

●応募締め切り：6月15日（金）

●応募方法：**応募申込書を事務局宛にメール送付**

一公募要領内容をご確認の上、応募申込書に必要事項を記入して事務局宛に電子メールでの送付をお願いいたします。応募申込書等は、ウェブサイトからもダウンロードできます。

●応募申込書送付先：**tokyo@servicegrant.or.jp**

●公募要領・応募申込書等のダウンロード：

「東京ホームタウンプロジェクト」ホームページ
⇒トップページにあるご案内をクリック

<http://hometown.metro.tokyo.jp/>



問い合わせ先

本事業全般についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

【東京ホームタウンプロジェクト事務局】

認定NPO法人 サービスグラント（担当：石原、豊田、宮坂）

東京都渋谷区渋谷1-2-10

電話：03-6419-4021 電子メール：tokyo@servicegrant.or.jp

【主管部署】

東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課在宅支援担当（担当：五郡（ごぐん））

電話：03-5321-1111（内線）33-551